

新・宮城の将来ビジョン実施計画の構成(案)

1 全体像

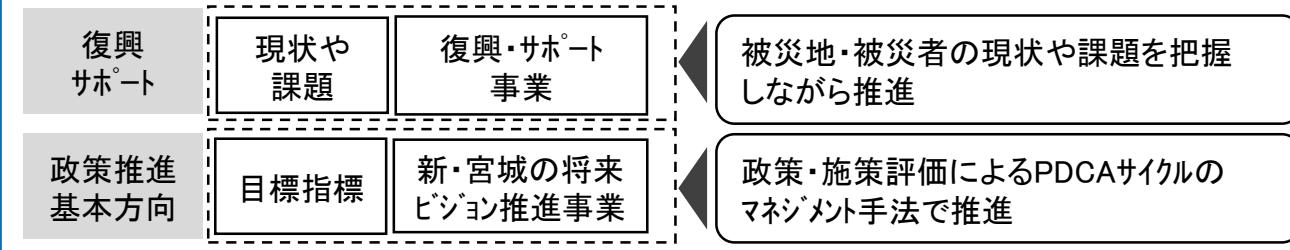
(1) 趣旨・期間

- ▽ 新・宮城の将来ビジョンに掲げた将来像の実現に向け、3期に分けて策定するアクションプラン
- ▽ 新ビジョンと合わせ「宮城県地方創生総合戦略」に位置づけ

計画	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
新ビジョン	10年間									
実施計画	前期4年間				中期3年間			後期3年間		

(2) 取組の推進

- ▽ 新ビジョンの「復興完了に向けたサポート」については「復興・サポート事業」, 「政策推進の基本方向」の取組については「新・宮城の将来ビジョン推進事業」で推進



2 策定の考え方

(1) 目標指標

- ▽ 取組の成果を把握するため、政策推進の基本方向の取組で設定(原則としてアウトカム指標)
- ▽ 「取組」レベルに加え、合計特殊出生率等「政策推進の基本方向(柱レベル)」のものを新設

レベル	目標値の時期	考え方	指標数(現段階)
柱	各期末及びR12年度	取組単位では達成が難しいもの	11
取組	各期末	取組単位で達成を目指すもの	124

(2) 新型コロナウイルス感染症への対応

- ▽ 新型コロナウイルス感染症への対応も含み、記載内容については別途検討。
- ▽ 第5章に基本的な考え方や関連する事業を掲載。

(3) SDGsの推進

- ▽ 新ビジョンの各取組で達成することとしているSDGsは、実施計画においても達成に寄与



(4) 事業一覧の掲載

- ▽ 第3章「被災地の復興完了に向けたきめ細かなサポート」の章末に復興・サポート事業一覧,
- 第4章「政策推進の基本方向」の章末に新・宮城の将来ビジョン推進事業一覧,
- 第5章「新型コロナウイルス感染症への対応」の章末にも関連事業一覧を掲載

3 施策の体系

▽ ビジョンの体系に沿って、R3~6年度の具体的な取組や目標指標を記載

被災地の復興完了に向けたきめ細かなサポート		
取組分野1	生活再建の状況に応じた切れ目のない支援	
2	回復途上にある産業・なりわいの下支え	
3	福島第一原発事故被害への対応	
4	復興事業のフォローアップと成果・教訓の伝承	
基本方向1 富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進 【柱レベル指標数3】		
(1) 全産業で、先進的取組と連携によって新しい価値をつくる		
取組1	産学官連携によるものづくり産業等の発展と研究開発拠点等の集積による新技術・新産業の創出	取組レベル指標数 6
2	宮城が誇る地域資源を活用した観光産業と地域を支える商業・サービス業の振興	4
3	地域の底力となる農林水産業の国内外への展開	9
(2) 産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる		
4	時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備	8
5	時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用	4
基本方向2 社会全体で支える宮城の子ども・子育て 【2】		
(3) 子ども・子育てを社会全体で切れ目なく応援する環境をつくる		
6	結婚・出産・子育てを応援する環境の整備	5
7	家庭・地域・学校の連携・協働による子どもを支える体制の構築	7
(4) 社会を生き、未来を切りひらく力をはぐくむ教育環境をつくる		
8	多様で変化する社会に適応し、活躍できる力の育成	19
9	安心して学び続けることができる教育体制の整備	9
基本方向3 誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり 【4】		
(5) 一人ひとりがいきいきと豊かに生活できる環境をつくる		
10	就労や地域活動を通じた多様な主体の社会参画の促進	9
11	文化芸術・スポーツ活動と生涯学習の振興	5
(6) 健康で、安全安心に暮らせる地域をつくる		
12	生涯を通じた健康づくりと持続可能な医療・介護サービスの提供	8
13	障害の有無に関わらず安心して暮らせる社会の実現	6
14	暮らし続けられる安全安心な地域の形成	4
基本方向4 強靱で自然と調和した県土づくり 【2】		
(7) 自然と人間が共存共栄する社会をつくる		
15	環境負荷の少ない地域経済システム・生活スタイルの確立	6
16	豊かな自然と共生・調和する社会の構築	5
(8) 世代を超えて安全で信頼のある強くなやかな県土をつくる		
17	大規模化・多様化する災害への対策の強化	7
18	生活を支える社会資本の維持・管理体制の充実	3

4 政策推進の基本方向毎の主な目標指標(案)

1 富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進			
取組	指標(案)の一部	現況値	
柱1 【新】	【新】経済成長率(計画期間中の平均名目経済成長率が全国平均よりも高い水準)	調査方法等検討中	
	【新】労働生産性(就業者一人あたりの県内総生産)	H29	8,155 千円
	一人当たりの県民所得	H29	2,944 千円
1	製造品出荷額等(食料品製造業を除く)	H30	58,546 億円
	産学官連携数	H29	1,971 件
2	観光客入込数	R1	6,796 万人
	観光消費額	R1	3,989 億円
3	農業産出額	H29	1,900 億円
	漁業産出額	H29	819 億円
	林業産出額	H29	80 億円
	製造品出荷額(食料品製造業)	H29	6,138 億円
4	【新】高校生の県内製造業就職率	R1	33 %
	【新】所定外労働時間数	R1	102 時間
5	仙台塩釜港(仙台港区)のコンテナ貨物取扱量	H30	193,775 tEU
	仙台空港乗降客数	H30	3,612 千人

2 社会全体で支える宮城の子ども・子育て			
取組	指標(案)の一部	現況値	
柱2 【新】	合計特殊出生率	H30	1.30
	【新】児童生徒の自己肯定感(「自分には良いところがあると思う」と答えた児童生徒の割合)	R1	78.8 % (小学6年生) R1 69.8 % (中学3年生)
6	【新】認定こども園の設置数	R2	77 園
	保育所等利用待機児童数	H30	475 人
7	【新】児童相談所における児童福祉司の配置数	R2	41 人
	【新】家庭教育支援チームの活動件数	R1	79 件
8	全国平均正答率とのかい離(小学6年生/中学3年生)	R1	▲3.0ポイント(小学6年生) R1 ▲3.5ポイント(中学3年生)
	児童生徒の体力合計点の全国平均値とのかい離(小学5年生)	R1	▲0.36ポイント(男子) R1 ▲0.33ポイント(女子)
9	【新】いじめの認知件数に占めるいじめの解消率(小学生/中学生/高校生)	H30 88.4/85.2/75.2% (小学生/中学生/高校生)	
	【新】不登校児童生徒のうち学校内外の学びの場において支援を受けている児童生徒の割合	調査方法等検討中	

3 誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会づくり			
取組	指標(案)の一部	現況値	
柱3 【新】	【新】人口の社会増減	H30	▲1,804 人
	【新】暮らしの満足度(暮らしてよかったと思う人の割合)	調査方法等検討中	
	健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均)(男性/女性)	H28	79.62/84.20 年
10	【新】女性のチカラを活かすゴールド認証企業数	R2	29 社
	「みやぎ移住サポートセンター」を通じたUIJターン移住者数の累計	H30	251 人
11	みやぎ県民文化創造の祭典参加者数	R1	1,090 人
	【新】生涯学習プラットフォーム閲覧数	調査方法等検討中	
12	【新】メロリックシンドローム該当者及び予備群の割合	H29	30.40 %
	県の施策による自治体病院等(県立病院を除く)への医師配置数	H30	113 人
13	【新】乗合バス低床率	H29	59.4 %
	グループホーム利用者数	H29	2,267 人
14	1人当たり年間公共交通機関利用回数	H29	115 回
	刑法犯認知件数	H30	13,755 件

4 強靱で自然と調和した県土づくり			
取組	指標(案)の一部	現況値	
柱4 【新】	【新】防災意識(日頃から防災に対する備えをしている県民の割合)	調査方法等検討中	
	県内の温室効果ガス排出量	H27	20,918 千t-CO2
15	再生可能エネルギーの導入量(熱換算量)	H30	20,143 tJ
	県民一人一日当たりの一般廃棄物排出量	H30	972 g/人・日
16	【新】豊かな生態系(植生自然度と河川生物生息状況)	調査方法等検討中	
	【新】野生鳥獣の捕獲数(検討中)	R1	10,791 頭(イノシシ) R1 3,551 頭(ニホンジカ)
17	【新】女性防災リーダー養成者数	R1	856 人
	主要幹線道路等の橋梁の耐震化完了数	H30	50 橋
18	【新】橋梁長寿命化修繕工事完了数及び道路付属物長寿命化修繕工事完了数	調査方法等検討中	
	アドプトプログラム認定団体数	H30	642 団体